

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス Prop (児童発達支援)			
○保護者評価実施期間	R8年 2月 1日		～	8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	7名
○従業者評価実施期間	R8年 3月 1日		～	8年 3月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 26日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・経験豊富な専門職が従事している	・保育士、児童指導員、言語聴覚士等、専門職を配置し、療育の在り方や、質の向上を意識し取り組んでいる。 また、個別療育という特徴を活かして、子どもたちの「できた」を密に見守っている。	・研修や連携会議等、積極的に参加し、情報共有を行っていく。
2	・相談しやすい環境	・親子通園なので、保護者様からの相談を常に把握できるよう取り組んでいる。 また、職員間でも報告・連絡・相談は密に行い、話しやすい環境づくりを行っている。	・伝えやすさを考慮し、これまでの経緯や情報、支援の共有をより丁寧に行っていく。
3	・活動プログラムが固定化されないよう工夫している	・個々の得意、不得意を理解し、保護者様からの意向も踏まえながら、支援プログラムを検討している。 ひとりひとりオーダーメイドの支援プログラムを随時模索している。	・保護者様と支援者が密な連携を図り、支援内容のすり合わせができるよう、継続していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域交流の機会が少ない	・利用者様の安全を考えて行えていない状況。 ・どのように交流の場を設けるのか、具体的に検討できない。 ・利用者様の利点、不利益を考慮すると、具体的な案が浮かびにくい。	・地域施設や公共機関と連携し地域交流の機会、経験が制限されないよう考慮していく。
2	・保護者同士の関わりや、兄弟児などの関わりの場が少ない	・少人数のグループ活動時に、交流できる場があるが、保護者様に向けた交流にできていない。	・保護者様の交流を意識した、イベントも検討する。
3	・事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に、避難、救出その他必要な訓練が行われているか	・必要な訓練は行えているが、HPやお知らせなどでの周知が不十分である。	・HPで掲載していることを周知したり、お便りでの配布などを検討する。